

トラフグの種苗生産とシオミズツボワムシの培養

水産科3年 齋藤 尚哉

1. 目標

- ① シオミズツボワムシについて調べる
- ② トラフグについて調べる
- ③ 海水の素の成分を調べる
- ④ シオミズツボワムシの培養槽兼トラフグ孵化槽の設計・実験・製造
- ⑤ トラフグの関心を後輩に持っていただく
- ⑥ シオミズツボワムシ培養
- ⑦ トラフグの飼育を再スタート

2. トラフグについて

分類 フグ目 フグ科 トラフグ属

学名 *Takifugu rubripes* 卵 粘着沈性卵 産卵 3月～5月 春～夏

種苗生産では、ホルモン処理や水温制御と日長処理を組み合わせることで年中産卵可能

3. トラフグの種苗生産方法

(1) 採卵方法

ホルモン処理や水温制御と日長処理を組み合わせ、成熟を促し搾出法で卵を出す。

(2) 受精 乾導法

(3) 受精卵の管理

この間は卵同士がくっついて団子状になりふ化槽の底面や側面に付着するとふ化率が低下するため、強通気、強注水により強い環流を発生させ、強制的に浮遊させて管理。

① 産卵水温 14～19℃ ②積算水温 19℃で 133℃ ③孵化 受精後6～7日

4. 結果

シオミズツボワムシの培養槽とトラフグ孵化槽について検討した。しかし、両方とも実現には至らなかった。

5. 反省

行き当たりばったりでなく、計画を練って行動するべきだった。あとは自己管理不足であった。